

科目名	保 育 原 理	教員名	よどの 淀野 じゅんこ 順子	開 講 コース	保育科	1 年次	前・後期
<p>・目的と内容</p> <p>現在、子どもをとりまく状況は日々変化しています。また、幼稚園・保育園などの保育の現場をとりまく状況も変化しています。そのような中で、保育者・教育者は、目先のことにのみとらわれず、その状況にふさわしい保育を行なわなければなりません。状況にふさわしい保育をするためには、現在の状況を理解することが基本となります。そして、保育・教育についての基本的な知識を持ち、知識を実践に生かす力をつけることが必要です。</p> <p>そこでこの授業では、まず基本的な知識に基づいて保育・教育の全体像を捉え、保育とは何かを構造的に理解することを目指します。また、現在の状況を理解し、あるべき保育・教育とは何なのかを一人ひとりが考え、そのためにどのような実践をしたらよいかを具体的に考えることを目指します。</p>							
<p>・授業計画 [単位数：4 単位、授業週数：30 回]</p>							
<p>[前期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前期ガイダンス・保育とは何か 2. 保育者の必要性和現在保育の問題点 3. 保育思想の歴史 (西欧) 4. 保育思想の歴史 (現代・日本) 5. 子ども理解と方法 6. 指導要録の内容と書き方 7. 子どもを取り巻く家庭・家族 1 8. 子どもを取り巻く家庭・家族 2 9. 子どもを取り巻く地域・自然・文化・仲間 1 10. 子どもを取り巻く地域・自然・文化・仲間 2 11. 子どもを取り巻く制度・サービス・経済 12. メディアと子ども 13. 子育て支援対策の展開保育 14. 筆記試験 15. 試験解答・まとめ 				<p>[後期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 後期ガイダンス 2. 保育者の専門性 3. 保育の目的 4. 保育の環境 5. 保育の内容 6. 保育計画と指導計画 7. 保育の方法 8. 障がい児の指導 9. 家庭との連続性 10. 学校との連続性 11. 地域社会とのネットワーク 12. 保育の評価 13. 子どもの権利と世界の動向 14. レポート試験 15. レポート返却・まとめ 			
<p>・講義の進め方</p> <p>基本的には講義形式で進めますが、適時 VTR を利用したり、グループワークを行います。</p>							
<p>・試験と成績評価</p> <p>前期：筆記試験と小レポートにより評価します。 後期：レポート試験と小レポートにより評価します。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>保育には、子どもの成長を考えるだけでなく、子どもがよりよく成長できるよう、家庭や地域をはじめとする環境を整えていくことが大切です。現在のさまざまな状況を知り、子どもや社会の基本的な知識を身につけ、構造的に理解することを通じて、何が子どものよりよい成長なのか、どのようにして環境を整えていけばいいのかなど、一緒に考えていきましょう。</p>							
<p>・使用教材</p> <p>教科書：『保育原理』谷田貝公昭・岡本美智子編（一藝社） 『幼稚園教育要領解説』文部科学省（フレーベル館） 『保育所保育指針解説書』厚生労働省（フレーベル館）</p> <p>参考書：</p>							